

平成 28 年度

こども議会

【 議事録 】

平成29年2月6日

周南市教育委員会

平成28年度 こども議会議事日程（第1号）

平成29年2月6日（月曜日） 午後1時30分開義

○日程第1 会議録署名議員の指名

○日程第2 会期の決定

○日程代3 一般質問

議長

周南市議会議長 兼重 元

出席議員（29名）

遠石小学校	平中 千絵	ひらなか ちえ
遠石小学校	大林 波菜	おおばやし はな
遠石小学校	新城 琉太	しんじょう りゅうた
遠石小学校	清木光史郎	せいき こうしろう
遠石小学校	田中 凌志	たなか りょうじ
久米小学校	島村 優呼	しまむら ゆうこ
久米小学校	河村 裕大	かわむら ゆうた
久米小学校	河本 遥人	かわもと はると
久米小学校	松田 凜	まつだ りん
久米小学校	船越 美羽	ふなこし みう
富田東小学校	靱藏 賢汰	もみくら けんた
富田東小学校	上村 月乃	かみむら つきの
富田東小学校	中村 春穂	なかむら はるほ
富田東小学校	山縣 侑斗	やまがた ゆきと
富田東小学校	高松 來未	たかまつ くるみ
富田東小学校	山田 和宏	やまだ かずひろ
富田東小学校	野村 彩夏	のむら あやか
富田東小学校	石川 諒	いしかわ りょう
富田東小学校	藤下 新史	ふじした あらし
富田東小学校	温品 明香	ぬくしな めいか
高水小学校	棚田 和湖	たなだ わこ
高水小学校	手島 彩花	てしま あやか
高水小学校	小林千歩乃	こばやし ちほの
高水小学校	松元心優人	まつもと しゅうと
鹿野小学校	江副 聖	えぞえ ひじり
鹿野小学校	厚東 真衣	こうとう まい
鹿野小学校	柳井 大空	やない たすく
鹿野小学校	井東 太陽	いとう たいよう
鹿野小学校	岡崎 愛	おかざき まなみ

説明のため出席した者

市	長	木村	健一郎										
副	市	長	住田	英昭									
教	育	長	中馬	好行									
政	策	推	進	部	長	増本	俊彦						
行	政	管	理	部	長	小林	智之						
財	政	部	長	近光	愼二								
地	域	振	興	部	長	合田	幸二						
環	境	生	活	部	長	野崎	俊明						
福	祉	医	療	部	長	大西	輝政						
こ	ど	も	健	康	部	長	中村	純子					
経	済	産	業	部	長	弘中	基之						
建	設	部	長	足達	正男								
都	市	整	備	部	長	岡村	洋道						
中	心	市	街	地	整	備	部	長	久村	信幸			
新	南	陽	綜	合	支	所	長	松村	悟				
熊	毛	綜	合	支	所	長	藤井	義則					
鹿	野	綜	合	支	所	次	長	兼重	雅洋				
モ	ト	ー	ホ	ト	競	走	事	業	管	理	者	山本	貴隆
消	防	部	長	村野	行徳								
教	育	部	長	小野	卓令								
上	下	水	道	事	業	管	理	者	渡辺	隆			
上	下	水	道	局	副	局	長	藤田	真治				
監	査	委	員	山下	敏彦								

●議長

こんにちは。周南市議会議長の兼重 元です。開会前に一言ごあいさつ申し上げます。この場所が、周南市議会の議場です。ここは、みなさんが学校で学習した選挙や議会のこと、そして政治の仕組みなど、今日はちょっとだけ体験してもらえと思います。

議場は、市民に選ばれた市長と市議会議員が、周南市のまちづくりのことを議論し、最終的に決定する大切な場所です。

今日はみなさんが市議会議員の議席に着き、こども議員となって意見や提言をしっかりと発言をしてください。市長ほか、市役所で大切な働きをされている市のみなさんも真剣に答えていただけたらと思います。大いに期待をしております。

続いて、市長からあいさつがあります。

●市長

みなさん、こんにちは。周南市長の木村健一郎です。

今日のこども議会は、みなさんが学校の勉強を通して考えてくれた周南市のまちづくりについて、本物の議場で直接聞くことができる大切な場です。

みなさんの熱い思いの込められた提案や質問に、私もしっかり答えてまいろうと思います。そして、みなさんの意見の中で、良い意見や提案はしっかり市政に反映していきます。今日はどうぞよろしく願いいたします。

●議長

続いて、順次、理事者から自己紹介をお願いします。

◆副市長

みなさん、こんにちは。副市長の住田英昭でございます。私の仕事でございますけれど、職員と力をあわせながら、一緒になって木村市長を、お手伝いすることが私の仕事です。本日は、みなさんの生の声を直接聞けることを楽しみにしております。ぜひ、大きな声で発言してください。よろしく願いします。

◆行政管理部長

こんにちは。市役所の働く場、市役所で働く人の管理をしております、行政管理部長の小林智之でございます。よろしく願いいたします。

◆地域振興部長

みなさんこんにちは。地域振興部長の合田幸二でございます。地域振興部は文化、スポーツ、それから地域づくり、観光、国際交流などを担当しております。どうぞよろしく願いいたします。

◆政策推進部長

みなさんこんにちは。私のところでは、市の広報を作ったり、ホームページを使って、みなさんにいろいろな情報をお知らせしております。今日は大変楽しみにしております。がんばりましょう。増本俊彦です。今日はよろしく願いいたします。

◆財政部長

みなさんこんにちは。財政部長の近光と言います。財政部は、市民のみなさんから集めた税金を市が行っている様々な仕事に、配分する仕事をしています。本日はよろしく願いいたします。

◆福祉医療部長

みなさんこんにちは。福祉医療部長の大西でございます。福祉医療部は、お年寄りや障害のある人、経済的に困っている人の相談に応じ、支援することと、地域医療の体制づくりに取り組んでいます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◆こども健康部長

みなさんこんにちは。こども健康部長の中村純子と申します。今日は、どうぞよろしくお願いいたします。こども健康部では、幼稚園や保育所など子育て支援のいろいろな施策、それから子供から高齢者までのみなさんの健康づくりについて取り組む部署です。今回はひとつ質問もいただいています。みなさんが、お母さんのおなかの中にいるときから、みなさんとお付き合いをさせていただいているこども健康部です。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

◆環境生活部長

みなさんこんにちは。元気な声を聞いて安心しております。環境生活部長の野崎俊明です。よろしくお願いいたします。環境生活部は、6つの課がありまして、住民票を出したりする市民課、野犬とかコンビナート企業と一緒に進める環境政策課、交通安全を進める生活安全課、人権問題を推進していく人権推進課、ごみを集めたり処分するリサイクル推進課、国民健康保険と年金を預かっている保険年金課、6つの市民の皆様に着した業務を行っています。よろしくお願いいたします。

◆経済産業部長

みなさんこんにちは。経済産業部長の弘中です。経済産業部では、商業、工業、農業、林業、水産業の振興と、それから、徳山動物園を担当しております。徳山動物園がリニューアルを進めておりまして、ぜひ、みなさん徳山動物園にお越しください。今日1日、どうぞよろしくお願いいたします。

◆建設部長

みなさんこんにちは。建設部長の足達正男です。建設部では、道路を造ったり、建物を建てたり、こういった仕事をしています。よろしくお願いいたします。

◆都市整備部長

みなさんこんにちは。都市整備部長の岡村洋道と申します。私の部では、公園や区画整理、土地の利用の仕方、都市基盤を作ったり、維持管理する部署になります。今日はよろしくお願いいたします。

◆中心市街地整備部

みなさんこんにちは。私の仕事は、徳山駅前など街中が元気になるように取り組みを進めています。中心市街地整備部長の久村信幸と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◆教育長

みなさんこんにちは。私は、市内にあります27の小学校と15の中学校のお世話役などをさせていただいている、教育長の中馬好行と申します。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

◆教育部長

みなさんこんにちは。教育部長の小野でございます。教育長の下、みなさんが毎日通っ

ています学校に関することを主な仕事としております。本日はよろしく申し上げます。

◆上下水道管理者

こんにちは。飲み水を作ったり、使って汚れた水をきれいにしております、上下水道局局長の渡辺と申します。今日は、よろしく申し上げます。

◆上下水道局副局長

みなさんこんにちは。上下水道局副局長の藤田真治といたします。どうぞ、よろしく申し上げます。今、前に管理者がおりますけど経営者である管理者をサポートしております。どうぞ、よろしく申し上げます。

◆モーターボート競走事業管理者

こんにちは。ボートレース徳山を経営しております。ボートレースの収益がまちづくりに役立っています。モーターボート競走事業管理者の山本貴隆です。どうぞ、よろしく申し上げます。

◆^{かんさ}監査委員

みなさんこんにちは。市のお金の使い方や、仕事をチェックしております^{かんさ}監査委員の山下敏彦です。どうぞ、よろしく申し上げます。

◆消防長

こんにちは。火災や救急などへの対応、そして火災予防を担当しております消防本部の村野でございます。よろしく申し上げます。

◆新南陽総合支所長

みなさんこんにちは。新南陽総合支所長の松村悟です。新南陽地域が今以上に、住みやすい所になるようがんばっています。よろしく申し上げます。

◆熊毛総合支所長

みなさんこんにちは。熊毛総合支所長の藤井です。熊毛地域のまちづくりを一生懸命やっています。今日は、よろしく申し上げます。

◆鹿野総合支所次長

みなさんこんにちは。鹿野地域の安全安心とまちづくりを担当しております。鹿野総合支所次長の兼重雅洋と申します。よろしく申し上げます。

●議長

ただいまから、平成 28 年度こども議会を開会いたします。

これより、本日の会議を開きます。本日の会議日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程第 1 会議録署名議員の指名

●議長

日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、厚東真衣議員及び河本遥人議員を指名します。

日程第 2 会期の決定

●議長

日程第2 会期の決定を議題といたします。お諮り^{はか}します。

こども議会の会期は、本日1日間としたいと思っております。これに、ご異議ありませんか。

＝「異議なし」と呼ぶ者あり＝

●議長

ご異議なしと認めます。こども議会の会期は、本日1日間と決定いたしました。

日程第3 一般質問

●議長

日程第3 一般質問を行います。

こども議会における一般質問は、6つのチームに分かれて行います。各チームの一般質問は、まずチームの代表者が「未来の周南市像」を発表します。次に、その未来の周南市像からテーマを絞って、「自分たちでできること」を1人ずつ発表します。次に、「地域や学校でできること」をチームの代表者が発表します。それを踏まえて、最後に、市長に対してチームの代表者が質問や提言を行います。議会では資料を用いず、発言だけで議論を進めることが原則になります。しかしながら、本日はこども議員のみなさんが、これまでの学習の成果を示すため、また、市長を始めとするみなさんにわかりやすく説明するため、資料を用意しておられるようです。本日は、特別に資料の持ち込みを許可します。

●議長

それでは、遠石小学校、「遠石 MIRAI」は、質問席に移動してください。

【遠石小学校、「遠石 MIRAI」登壇^{とうだん}】

●議長

質問順位第1番 遠石小学校、「遠石 MIRAI」

平中千絵議員、大林波菜議員、新城琉太議員、清木光史郎議員、田中凌志議員。

●平中千絵議員

遠石小学校6年の平中千絵です。遠石 MIRAI の一般質問をいたします。はじめに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。私たちは、「公園を中心に、マナーよく過ごせる町周南」というテーマで提案します。まず、公園を中心に、マナーよく過ごせる町を目指して、自分たちができることを考えましたので、一人ずつ発表したいと思います。

私は、公園を中心に、マナーよく過ごせる町を目指して、ごみのポイ捨てをしないようにしたいと思います。

●大林波菜議員

遠石小学校6年の大林波菜です。私は、公園の遊具を正しく使うことを心がけたいと思

います。

●新城琉太議員

遠石小学校6年の新城琉太です。ぼくは、危険なところや入ってはいけないところに、入らないようにしたいと思います。

●清木光史郎議員

遠石小学校6年の清木光史郎です。ぼくは、公園にいる野犬に近寄らないようにしたいと思います。

●田中凌志議員

遠石小学校6年の田中凌志です。ぼくは、6年生として、下級生の見本になるような遊び方をしたいと思います。

●新城琉太議員

ぼくたちのテーマである、「公園を中心に、マナーよく過ごせる町」にするために、ひとり一人ができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

まず、学校でできることは、6年生を中心に、放送などで呼びかけることです。地域でできることは、週に1回、ゴミを拾ったり、草取りをしたりする活動をするということです。公園のトイレの使い方についても、ポスターなどで呼びかけることができると思います。

●清木光史郎議員

そこで、市長に提案します。まず1つ目は遊具についてです。遠石小の5、6年生120人にアンケートをとった結果、さびていたり壊れていたりする遊具がある公園が「ある」と答えた人が71人で、「ない」と答えた人が13人でした。このことから、周南市の公園には古い遊具が多いことが分かります。

そこで、速玉公園で調査した結果、ところどころ、^{ろうきゅうか}老朽化が進んでいる遊具がありました。しかし、中には、きれいになっているものもありました。だれが直してくれたのかわかりませんが、^{ろうきゅうか}老朽化が進んだ遊具は、ボランティアなどで、直すことができるのではないかと思います。

また、注意書きにも目をつけました。危ない遊具があるのに、注意書きが小さく、見えにくいところがあったので、だれにでも一目で分かるように、目立つ看板を作った方がいいと思いました。

次に、2つ目は野犬についてです。アンケートによると、野犬と遭遇してこわかった経験はありますか、という質問に「ある」と答えた人が76人、「ない」と答えた人が36人でした。「ある」と答えた人の中には、「かまれそうになった」「ほえられた」「にらまれた」などの声が上がっています。公園にもたくさんの野犬がいます。市でも、もっと安全のための呼びかけや対策を行い、危険を少なくして欲しいと思います。そうすることで、たくさんの人が公園に集まり、マナーよく安全に過ごす町が作れるのではないかと思います。いかがでしょうか。以上2つのことについて、回答をお願いします。

●市長

公園を中心にマナーよく過ごせる町を目指すということで、一人ひとりがポイ捨てをしない、公園の遊具を正しく使う危険なところに入らない、野犬に近づかない下級生の見本

となるような遊び方をするという思いを、聞かせてもらいました。学校としても大きく市民に呼びかけをして公園をきれいに使うという取り組みについても聞かせてもらいました。質問のその1、公園は子供達も含めて誰もが安全に利用できなければならないと思いますし、お年寄りや若い人、男の人、女の人いろいろな人たちが心地良く過ごせる場所でなければいけないと思っています。遊具については、ボランティアで直していただけるのは大歓迎であります。例えば、日本塗装工業の山口県支部の方々が昨年11月に、ボランティアで遊具の塗装をしていただいております。公園の清掃も、基本的には地域の公園の愛護団体に行っていると思います。ただ、道具や遊具が壊れている場合は専門業者でないと直せないと思います。市内の公園の管理は市の都市整備部の公園花とみどり課が管理しておりますので、具体的な答弁につきましては都市整備部長がお答えいたします。

●都市整備部長

お答えいたします。貴重なご意見ありがとうございました。今回、この写真を見させていただきました。確かに市の注意不足で、大変申し訳ないことをしております。大変助かります。ありがとうございます。みなさんの学校や家の近くに公園がたくさんあると思いますが、その公園は都市公園といいます。市内にはこのような都市公園を含めて全部でどのくらい公園があると思いますか。約250の公園があります。その中で、特にみなさんがよく遊んでいる公園が都市公園といまして、約160か所、そのほとんどの公園には、先ほど市長が申しましたように、公園愛護会という、地域のみなさんや、子供会などの方々が中心となって公園の維持管理や使いやすい公園にしていこうという団体が150団体ほどあります。このボランティアによりまして、日ごろの清掃や、草刈、破損箇所の通報などご協力をいただいております。市の公園花とみどり課の職員が、全ての公園を巡回をしていて、壊れているものについては修理したり、色が剥げているものは、自分たちでできるものは修理しております。できないものについては、専門の業者をお願いしてやっております。今ある公園のほとんどが、昭和40年から50年代に造られた公園で、30年以上たっていて、かなり古い遊具もあります。その遊具については、みなさんが使うのも危ないという情報がありましたら、市に連絡していただければ、早急に対応できるものはきちんと対応を進めていきたいと思っております。古い公園については、長寿命化計画を作りまして、市内にあります24の公園については、古い遊具を撤去して新しい遊具にしたり、公園ごとでどのように対応するか、皆様から聞きながら公園の改修や整理を進めています。今後も、危ない箇所等については市に言っていただければ、すぐに対応していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

●市長

それでは、2番目の質問、野犬についてであります。飼い主がマナーを守って、最後まで責任を持って飼育することが一番大切なことです。周南市では周南緑地を中心に野犬がたくさんいることは、私も承知をしています。本当の議会でも一般質問が出ていまして、議論をしているところです。狂犬病予防法や動物の愛護及び管理に関する法律がありまして、市の役割、県の役割があり、登録や予防注射を受けていない犬などの捕獲については県の仕事です。捕獲した犬の収容やその後の管理や処分は、これも県の役割です。そして、犬や猫の引き取りや譲渡も県の役割であります。市の役割は、犬を正しく飼っていただく

ための犬の飼い方教室、飼い犬の登録、^{きょうけん}狂犬病予防注射などで、市民のみなさんが犬と一緒に暮らすためのサポートを行っています。先ほど言いましたように、野犬を捕獲するのは法律で県の仕事になっていますので、山口県周南環境保健所が捕獲を行っています。周南市としても、市民の安心安全のために何とかしたいと考えていますので、野犬の捕獲、餌やり禁止の啓発活動も県と一緒にしているわけです。この野犬対策については、詳しくは、担当の環境生活部長よりお答えをいたします。

●環境生活部長

先ほども、発表の中にもありましたように、野犬には近づかない、これは非常に大切です。みなさんもそのようにしてください。走って逃げてはいけません。追いかけてきますので、転んだりしてケガをします。市内のいろいろな所に野犬がいます。みなさんから、苦情や連絡が入ってきますが、その中で、一番多いのが周南緑地公園です。これだけ広い公園が町中にある市は、なかなかないです。環境的には、スポーツもできるし、散歩もできるし、いろいろな遊びもできるし、すばらしい公園ですが、そこに野犬がたくさんいます。どうしても、家で飼えなくなった犬を黙って置いていって、捨て犬になったり、この犬がかわいそうだからといって、餌をあげたりしてだんだん増えていきます。先ほど、市長も言いましたが、登録や予防注射を受けていない野犬は県の仕事で、要するに注射を打っていない犬は、病気をもっている可能性があるのもそれが人間に危害を加えないように、県が捕まえています。県は、捕まえた犬の健康状態を把握して、みなさんに飼っていただくように進めています。ちなみに、県内で昨年に1,350頭ぐらい野犬が捕まっているのですが、周南市ではそのうちの約半分、約680頭が捕まっています。かなりの部分を再譲渡して飼っていただいています。市は、去年3月にキャンペーンをしてみなさんに、野犬の餌をやらない、虐待もしないというお願いをしました。その結果、野犬の情報もいろいろ入ってきて、どこに野犬が住んでいるのか、かなり詳しく把握することができました。今後とも、みなさんに危害が及ばないようにしっかりと野犬対策をしてまいりますのでよろしくをお願いします。

●議長

再質問はありませんか。

●清木光史郎議員

子供達の公園の使い方はどうでしょうか。ご回答をお願いします。

●都市整備部長

みなさんが、公園を使っている使い方は、大変良いと思います。とにかく、元気よく公園で遊んでいただきたいと思います。ただし、ルールを守り、安全に十分気をつけて周りの人に迷惑をかけないように元気よく遊んでもらいたいと思います。

●議長

他に、再質問はありませんか。

以上で、遠石小学校「遠石 MIRAI」の一般質問を終了します。次に、久米小学校「くるクメ」は、質問席に移動してください。

【久米小学校「くるクメ」^{とうだん}登壇】

●議長

続いて、質問順位第2番、久米小学校「くるクメ」。

島村優呼議員、河村裕大議員、河本遥人議員、松田凜議員、船越美羽議員。

●島村優呼議員

久米小学校の島村優呼です。

私達、「くるクメ」の一般質問をいたします。

初めに、周南市の未来がこうだいたいという姿を希望を込めて発表します。

私達は、自分たちの住む久米が、「くるくるロード」を中心に人がたくさん集まる町」になって欲しいというテーマで提案します。

近年、久米には、「くるくるロード」という道ができました。徳山東インターチェンジと、櫛浜方面を結ぶ真っすぐな道です。「くるくるロード」ができる前は、車同士が、よけられないくらいの細い道でしたが、今はきれいな広い道です。その道に沿って、いろいろなお店や、ショッピングセンターが造られているところです。

「くるくるロード」を中心に以前よりも、にぎやかな町になって欲しいという願いから、このテーマを決めました。

二枚の写真からもわかるように、久米の町並みは大きく変わりました。

まず、この願いをかなえるために、自分たちができることを考えましたので、一人ずつ発表します。

●河村裕大議員

久米小学校の河村裕大です。

ぼくは、そのために、人がたくさん集まっても安全のように自転車の乗り方に気をつけます。ヘルメットをかぶったり、スピードを出し過ぎないようにしたりして、自分の命を守ります。

●河本遥人議員

久米小学校の河本遥人です。

ぼくは、そのために、登校班の班長として班の人たちを安全に学校につれて行くよう、これまで以上に気をつけます。

●松田凜議員

久米小学校の松田凜です。

私は、そのために、久米に人が集まるように、譲羽^{ゆずりは}での宿泊体験ができるようになったら、自然体験を教えてくれる人を探します。

●船越美羽議員

久米小学校の船越美羽です。

私は、そのために、譲羽^{ゆずりは}での宿泊体験ができるようになったら、来てくださった方のお手伝いをしたいです。

●島村優呼議員

私は、そのために人が集まるきれいな町になるように、これまでどおり、ゴミを落とさないように気をつけて、もし、ゴミが落ちていたら拾うようにします。

●河村裕大議員

ぼくたちのテーマである「くるくるロード」を中心に人がたくさん集まる町」にするために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

●河本遥人議員

それはまず、ぼくたちの住む町、久米をきれいで安全にするということです。たくさんの人を呼ぶためには、人が過ごしやすい町にならないといけないからです。

次に、来てくれる人が喜ぶようなイベントを考え、知らせて行くことです。ショッピングセンターのオープンと共に、何か人を集める工夫があったらいいと思うのです。

●松田凜議員

そこで、市長に提案します。

1つめは、「久米の町をきれいにするために、ゴミが分別しやすいようなゴミ箱を設置してほしい」ということです。

落ちていたゴミを、捨てたくなるようなゴミ箱のデザインをみんなで考えてみました。

2つめは、久米小^{ゆずりは}分校を自然体験できる宿泊施設にしてほしいことです。宿泊する人には、久米で買物が割引されるという特典つきではいかがでしょうか。

3つめは、くるくるロードができて、交通量が増えたため、安全に過ごせるための設備や、標識などを設置して欲しいことです。町並みが変わり、信号や止まれの標識をつけて欲しい所が増えました。

くるくるロードを中心に、人がたくさん集まる町にするために以上3つのことについて提案します。回答をお願いします。

●市長

安心安全できれいで、更に自然体験もできる^{ゆずりは}久米地区は大変素晴らしい財産を持っています。きれいな町にしたいという思いは素晴らしいことですが、私はゴミ箱を設置するということではなくて、ごみを捨てないようにするという考え方も大切だと思います。永源山公園に行ってみますと、あそこには、ゴミ箱はないのです。ごみはみんなが持ち帰るという考え方も、大切ではないかと思えます。それから、安全に過ごせるための設備や標識などの設置については、警察や公安委員会が必要かどうかを決定して、設置するわけでございまして、これについては市の方もそちらにつないであげなくてはいけないなと思っています。

久米^{ゆずりは}分校、いいですね。でも、宿泊施設にするということになれば、改修費とか管理運営に関する人件費なども必要になるかなと思っています。今、周南市では、自然が体験できる宿泊施設として、大田原自然の家や大津島にも海の郷がありますし、大田原自然の家だけでも、1年間に1万人を超える人が利用しているわけです。ぜひ、山での自然体験は大田原自然の家を利用して欲しいなと思えます。いろいろな部にまたがっていますので、各部長が答弁してくれると思います。

●環境生活部長

まず、ゴミ箱の件についてお答えします。確かに、ゴミ箱というのはひとつの方法です。ただ、ゴミ箱を置くのは場所とそれをきれいに管理する人が必要になります。それよりは、市長も言われたように、ゴミを持ち帰って、そして分別してから出してください。周南市

では5種類の分別をお願いしております。燃えるごみ、容器プラスチック、その他プラスチック、不燃物、処理困難物で、その中から売れる物、お金になるものを選びだして、それが市民のみなさんのための、税金以外の収入になります。したがって、そこに有るごみ箱に捨てるのではなくて、自分で出したごみは持ち帰って分別して出してリサイクルするというふうにすると町もきれいになると思いますので、協力のほどよろしくお願いいたします。

●地域振興部長

先ほど、大田原自然の家のことを市長が答弁いただきましたが、^{ゆずりは}譲羽分校は非常に環境のいい、自然が豊かなところにある施設だと思っております。みなさんが調べてくれている川遊び、バーベキュー、流しそうめん、虫取り、星の観察、いろいろなことがそこでもできていると思っています。市長も申しましたが、新しく施設を改修したり、管理するということはお金がかかるなど大変なことがあります。ただ、施設を有効に利用するということは大変大事なことです。今、市内のそれぞれの地域づくりの中で、「地域夢プラン」を地域の中で作っておられます。その中で、地域のみなさんと一緒になって地域を元気にするにはどうしたらいいか、若い人や高齢の人、男女問わず、いろいろな人が集まって話し合いをしながら、どうしたらいいかという計画を作ってきております。久米地区でも、そういった計画があれば、みなさんも参加していただいて夢のある施設がどうしたらできるかなというのを一緒に考えていただけたらと思います。

●経済産業部長

「くるくるロードを中心に人がたくさん集まる町」ということで、みなさんご存じだと思いますけど、榎浜久米線が平成26年3月に全線開通したところです。昨年11月にイオンタウン周南久米店、3つの区画がありますがそのうち1区画がオープンしたところです。道路が開通したことによって、多くの商業施設が張り付いて、大型商業施設がオープンしたということで、今後2区画がオープンしますので、また多くの人が集まるのではないかなと思っております。多くの人が集まると、交通量が増えるといった問題もあろうかと思いますが、商業施設が出店すると多くの人が集まるということは確実に言えると思います。

●教育長

教育長の中馬です。まず、久米小^{ゆずりは}譲羽分校を自然体験ができる宿泊施設にしてほしいという提言ですが、^{ゆずりは}譲羽分校の豊かな自然を生かした活用と、そして久米のまちの活性化とを連動させるという点にみなさんが着目されたということは素晴らしいことだと思います。

さて、休校というのは、学校としてはまだ存在しているのですが、通ってくる児童のみなさんが少なくなったりして、一旦お休みをしている学校のことで、^{ゆずりは}譲羽分校は平成19年から休校となっています。ここでは、現在、地域の方々のご努力によって、清掃や草刈りなどをしていただくことで、きれいに保たれた施設の中で、みなさんも利用されたかもしれませんが、スポーツ少年団の合宿や、選挙の時には投票所などにもなっています。

先ほど申しましたように^{ゆずりは}譲羽分校は、現在、まだ学校ですので、すぐに宿泊施設などにして整備することは難しいのですが、今後、みなさんはもちろん地域の方々のご意見もしっかりと伺いながら、今後のどのようにして有効な活用をしたらよいか、先ほど答弁も

ありましたがしっかりと考えていきたいと思っています。

もう、1点、「くるくるロード」での交通安全対策についてですが、周南市では、平成26年度から、小中学生のみなさんが、通学路を使って安全に登下校できるように、学校の先生方やそれぞれの道路を管理している管理者、警察署の方、地域の方々が一緒になって話し合い、対策を検討する仕組みを作っています。これにより、久米小学校区では、昨年、道路3か所に緑色の線を引いていますね。この緑色の線を引くことによって、ドライバーなどにここは通学路ですよ。安全に通行してくださいね。ということ意識してもらうために線を引いています。これからも、みなさんの通学路に危険な所があれば、大人みんな協力しながら、みなさんの安全確保にしっかりと努めていきたいと思っています。

●建設部長

みなさんの周りの道路で、危ない箇所、信号があつたらいいなという箇所、あるいは穴ぼこがある、こういった箇所については市役所の道路課の方に言っていただければ、警察や公安委員会と一緒に対応することもありますし、市独自でやれることもあるので危ない所があつたら、ぜひこちらの方へ連絡していただけたらと思います。

●議長

再質問はありませんか。

再質問なしと認めます。以上で、久米小学校「くるくメ」の一般質問を終了します。

次に富田東小学校「神ってるチーム」は、質問席に移動してください。

【富田東小学校「神ってるチーム」 とうだん 登壇】

●議長

続いて、質問順位第3番 富田東小学校「神ってるチーム」。

靱藏賢汰議員、上村月乃議員、中村春穂議員、山縣侑斗議員、高松來未議員

●靱藏賢汰議員

富田東小学校6年の靱藏 賢汰です。「神ってるチーム」の一般質問をします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

それは「私たちのまち周南市が、近所の人みんながもっと顔見知りになってつながりが深まり協力的で助け合える町、子供からお年寄りまで多くの人々が笑顔でいきいきと活動している町、公園や公共施設を利用し楽しんでいる町だったらいいなと思います。

ぼくたちはこの周南市が、こんなすてきな町になるように「夢と笑顔があふれる活気あるまちにするために」というテーマについて考えたことを提案します。まず、夢と笑顔があふれる活気あるまちをめざして、自分たちでできることを考えましたので、一人ずつ発表します。

ぼくは、夢と笑顔があふれる活気ある町にするために休日の昼間は、家の中でゲームをするのをやめて、外に出て友達といっしょに遊ぶようにします。

●上村月乃議員

富田東小学校の上村月乃です。わたしは、「夢と笑顔があふれる活気あるまちにするために」、永源山公園や学び・交流プラザなどの公共施設をたくさん利用します。

●中村春穂議員

富田東小学校の中村春穂です。私は、「夢と笑顔があふれる活気あるまちにするために」地域の方に大きな声で、しかも笑顔であいさつすることに取り組みます。

●山縣侑斗議員

富田東小学校の山縣侑斗です。ぼくは、「夢と笑顔があふれる活気あるまちにするために」積極的に地域の行事やボランティア活動に参加します。

●高松來未議員

富田東小学校の高松來未です。わたしは、「夢と笑顔があふれる活気あるまちにするために」学校に来てくださる地域の方に積極的にあいさつをして話しかけ、顔見知りの方を増やしたいと思います。

●上村月乃議員

私たちのテーマである、「夢と笑顔があふれる活気あるまちにするために」、一人ひとりができることの他にも、学校でできることは何かを考えました。

それは、地域の方との交流をもっと盛んにすることです。今、富田東小学校ではクラブ活動に地域の方をお招きし、ゲストティーチャーになっていただいています。また、総合的な学習の時間などで、地域の老人クラブの方と一緒にしめ縄を作ったり、地域の見守り隊の方と花壇の苗植えをしたりしています。

しかしながらその交流は十分とは言えず、お顔は知っていてもお名前は覚えていない、中には、お顔も覚えていない人もいます。また、学校にいらっしゃる地域の方も限られているように思います。だからもっと学校に地域の方に来ていただいたり、私たちがもっと地域に出かけたりして地域の方との交流を深めることが大切だと思っています。

●中村春穂議員

わたしたちは次に、地域でできることは何かについて考えました。それは、地域で行われている行事やお祭りがもっと盛り上がるようにすることです。そのことによって、地域の人々のつながりが深まり協力的で助け合える形ができると思うからです。わたしたち富田東小学校の校区でもいろいろなお祭りがありますが、たくさんの地域の方が積極的に参加しているとは言えないのではないかと思います。

そこでお祭りに来た人に次の年、どんなことをしたら参加したくなるかアンケートを実施したり、お祭りを計画する段階でいろいろな年代の人からご意見をもらったりするとよいのではないかと思います。実際、わたしたちの地域で行われている「まどころ来てみん祭」いう新しいお祭りにも、小中学校の出演もあり、年々、盛り上がってきていると思います。

●山縣侑斗議員

ぼくたちは「夢と笑顔があふれる活気あるまちにするために」というテーマについて考えてきましたが、そのためには地域の人々が集い、つながり、深まることが大事だと気付きました。そこで、市長に提案します。

1つ目は、だれもが行きたくなる特色のある公園の工夫です。周南市にはたくさんの公園はありますが、安全のため多くの遊具は撤去され禁止事項もたくさんあり魅力的ではありません。たとえば定期的に遊びを教えてくれるボランティアを配置したり、イベントを

実施したりする、あるいはドッグランができる公園などをつくるなど工夫してほしいと思います。

●高松來未議員

市長に2つ目の提案をします。2つ目は、月に1度「あそび周南の日」「ボランティア周南の日」「あいさつ周南の日」などを設け、まちの人に戸外での共同活動を促すという取組はどうでしょうか。

3つ目は、子供とお年寄りや外国人とが交流できる場を設定する、というものです。これが可能になれば私たちはたくさんの方を経験できるとともに、たくさんの方をつなぐことができるのではないかと思います。

以上3つのことについて、ご回答よろしく申し上げます。

●市長

神っているチームの質問にお答えします。市長もカープのファンで、鈴木誠也選手のファンでして、そのあたりから名前を決めたのかなと思いながら、一般質問を聞かせてもらいました。たくさんの方が交流をして、その中から笑顔があふれる活気ある町にしようということでありまして、まず第1に、誰もが行きたくなる特色ある公園に工夫しようという、確かにそうですね。ドッグラン、周南市の公園にはないですが、このドッグランも含めて、特色ある公園づくりをしていかななくてはいけないと聞かせていただきました。また、月に一度の「あそび周南の日」「ボランティア周南の日」「あいさつ周南の日」非常に、ユニークな提案をいただきました。山口県でも、毎月第3日曜日を「家庭の日」に決めています。周南市でも昨年11月にイクボス宣言をして、これからは働き方改革をして、家庭を大切にしたい働き方をしようとしていますので、これらも、取り入れられるものはぜひ取り入れていきたいと思っています。また、子供とお年寄りや外国人とが交流できる場の設定、いろいろな人達と一緒に、取り組むことが大切で、周南市では平成24年度から全ての小学校、中学校でコミュニティ・スクールを実施していますし、また外国人と交流する事業は、国際交流サロンが、食文化交流会などを開催されています。1月28日に子供達が、外国人留学生と一緒にその国の料理をつくる試食会がありました。できるだけ、そういう機会を設けて参加をしていただきたいと思います。いろいろな部がまたがっていますので、各部長から答弁をしてもらいましょう。

●都市整備部長

まず、みんなが行きたくするような公園、確かに魅力的な公園を作っていかななくてはならないということ、今回質問を聞いて痛切に感じております。公園というところは、みなさんが遊んだり、休憩するところですが、もう一つ、地震など、災害が起きた時の避難場所として位置づけられたところもあります。また、公園にはみなさんだけでなく、小さい赤ちゃんを連れてご家族連れや、おじいちゃん、おばあちゃんなどあらゆる世代の人たちが利用されるようになっていきますので、きちんとルールを守って、楽しく遊んでいただきたいと思います。自分たちの公園がこういう公園だったらいいなということがありましたら、ぜひ教えていただければ検討することもできますし、ひょっとしたらそうなるかもしれません。遊びを教えていただけるボランティアの話もありましたが、まずはご両親とか、おじいちゃん、おばあちゃん、これらの方も遊びの大先輩せんぱいになりますので、

お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に公園で遊ぶことも一つの方法ですし、公園におられるおじいちゃん、おばあちゃんとか、大人の人をつかまえて、いろいろ話をしてみても交流する、その中でこんな遊びがいいよと教えてもらえるかもしれません。ただし、変な大人について行くことだけはやめていただきたいと思います。安心安全に楽しく公園が使えるように市の方も一生懸命がんばりますのでよろしくお願いいたします。

●教育長

「神ってるチーム」のみなさんから、月に一度「あいさつ周南の日」などを設けてはどうかというお話ですが、児童のみなさんも、それぞれの学校で、たとえば「あいさつ運動」などを、学校だけではなく、地域の方々とも一緒になって取り組んでいらっしゃるね。素晴らしいことだと思います。まずは、こうした、それぞれの地域での取り組みをさらにみなさんの力をもって充実していただいて、これは周南市全体を挙げて市民の方と一緒に一緒になって取り組んでいこうという機運がしっかりと盛り上がってくれば、市全体としても進めていきたいと思っています。素晴らしい検討課題だと思います。

次に、子供とお年寄りや外国人とが交流できる場ということですが、これもみなさん、高齢者施設を訪問したり、あるいは高齢者の方から昔の遊びなどを教わったりということは、学校で盛んに行われるようになりました。

また、外国の方とは先ほどもありましたように、料理教室や、外国の絵本の読み聞かせなど盛んに行われています。更に授業で、外国語活動として英語の勉強をしていますが、みなさんが社会で活躍するころには、世界中の人が日本に来て、一緒に仕事をするそんな時代が来ます。そういう意味で、高齢者の方々、外国の方々、だれとでもコミュニケーションを図っていく、そういう力をみなさんが身につけて行くことは、非常に重要なことだと思っています。そうした意味からも、コミュニティ・スクールの取り組みを学校と地域と教育委員会と一緒に、さらに進めていきたいと思っています。

●地域^{しんこう}振興部長

外国の方との交流ですけど、先ほど市長の方が1月28日に食文化交流会が開催されたという話をされましたが、これは国際交流サロン運営委員会が中心となって、年に大きな交流会を4回開いております。先日の28日の時も4か国の方、17人が講師となってそれぞれの国の料理を作って、一緒に食べて交流されました。これは誰もが参加できるイベントとなっていますので、みなさんもぜひ参加していただきたいと思っています。また、地域で交流したいという要望がありましたら、ぜひ観光交流課の方にも連絡していただければそういった取り組みもできると思っています。

●議長

再質問はありませんか。

再質問なしと認めます。

以上で、富田東小学校「神ってるチーム」の一般質問を終了します。

一般質問の途中ですが、ここで^{ざんじ}暫時休憩いたします。次の会議は、14時45分から再開いたします。

=休憩=

●議長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

次に富田東小学校「スマイルファイブ」は質問席に移動してください。

【富田東小学校「スマイルファイブ」 ^{とうだん}登壇】

●議長

続いて、質問順位第4番 富田東小学校「スマイルファイブ」。

山田和宏議員、野村彩夏議員、石川諒議員、藤下新史議員、温品明香議員。

●石川諒議員

富田東小学校6年の石川諒です。スマイルファイブの一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。人がたくさん集まる楽しい町、みんなが自分の町をきれいにしようと思う町、誰もが住みたいごみ1つないきれいな町だったらいいと思います。

ぼくたちは、「だれもが住みたい ごみ1つない きれいな町」というテーマで、提案します。まず、だれもが住みたい ごみ1つない きれいな町を目指して、自分たちができることを考えましたので、一人ずつ発表したいと思います。

ぼくは、周南市を「だれもが住みたい ごみ1つない きれいな町」にするために、常にごみ袋を携帯して、ごみがあれば拾います。

●野村彩夏議員

富田東小学校6年の野村彩夏です。私は、周南市を「だれもが住みたい ごみ1つない きれいな町」にするために、ボランティア活動に進んで参加します。

●藤下新史議員

富田東小学校6年の藤下新史です。ぼくは、周南市を「だれもが住みたい ごみ1つない きれいな町」にするために、ごみのポイ捨てを決してしません。

●山田和宏議員

富田東小学校6年の山田和宏です。ぼくは、周南市を「だれもが住みたい ごみ1つない きれいな町」にするために、ポイ捨て禁止のポスターを作ります。

●温品明香議員

富田東小学校6年の温品明香です。私は、周南市を「だれもが住みたい ごみ1つない きれいな町」にするために、ごみを捨てる人を見かけたら、ゴミ箱にすてるよう注意したいと思います。

●野村彩夏議員

私たちのチームのテーマである、「だれもが住みたい ごみ1つない きれいな町」にするために、一人ひとりができることの他にも、学校でできることは何かを考えました。

それは、ごみゼロ運動です。私たちの学校にも、お菓子のごみなどが落ちていることがあります。もちろん、小学生だけの問題だけではありません。私たちの通学路にも、たば

この吸いがらなどが落ちていることがあります。それで、自分たちが住んでいる地域をきれいにするためにも、ごみゼロ運動を行いたいと思いました。

この運動を、全校で行うことで、自分の学校だけでなく、地域や町全体をきれいにしていこうという意識が高まり、私たちのチームのテーマである、「だれもが住みたい ごみ1つない きれいな町」につながっていくと思います。それで、私は、ごみゼロ運動を行いたいと思います。

●藤下新史議員

ぼくも、「だれもが住みたい ごみ1つない きれいな町」にするために、地域でできることは何かを考えました。

それは、地区ごとに花壇をつくり、ごみを捨ててはいけないと思う環境をつくり出すことです。花壇をつくることによって、地域の人々のつながりができ、きれいな環境にしようという意識が高まると思います。そして、地区同士が楽しみながら花壇をつくることで、だれもが住みたい ごみ1つない きれいな町につながると思います。

●山田和宏議員

ぼくたちが住んでいる周南市は、せっかく新幹線がとまるのに、駅周辺に人通りが少なく、開いていない商店もたくさんあります。また、歩道や、道路の中央分離帯に、ごみがそのまま捨てられている状態をよく見かけます。そこで、市長さんに、みんなで考えた提案します。

1つ目が、人がたくさん集まるイベントをもっと開催してほしいのですが、いかがでしょうか。人がたくさん集まれば、捨てられるごみも多くなると思います。逆にイベントを利用して、町をきれいにするというキャンペーンを行うことによって、町の人々の意識を高めることができるのではないのでしょうか。また、そのイベントの時には、だれもが使える、分別できるごみ箱を設置し、ポイ捨てをしないように呼びかけることもできると思います。

2つ目は、ごみが多く捨てられる場所に、花を植えて、ごみを捨てにくい環境を作りたいということです。車からのポイ捨てが多い中央分離帯にも、花を植えるとごみを捨てにくくなると思います。そして、ドライバーのマナーの向上にもつながると思います。

以上2つのことについて、回答をお願いします。

●市長

ごみ1つない きれいな町は誰もが住みたくする町ですね。そのためには、まずは自分のごみを捨てないということ、それからごみが落ちているのを見たら、まず自分が拾うということから始めていかななくてはいけない。また、花壇や花というのは本当に心を和ませますので、花壇が地域にたくさんあると花いっぱい美しい町になるなあと思いながら質問を聞いていました。まず、イベント開催を増やそうということですが、実は市内の各地域でたくさんイベントが行われています。この間調べただけで年間 239 件ありました。富田東小学校の地域では、まどろみ祭やサンフェスタ新南陽など大きなイベントも行われていますし、三笠フェスタなど地域のイベントも行われています。ただし、本当に魅力のある世界中から人がやってくるイベントはこれからも考えていきたいなと思っておりますし、みなさん方は今行われているイベントに可能な限り、参加して欲しいなと思

っています。そしてイベントにごみはつきものですが、多くのイベントには分別できるごみ箱が設置してありますし、市長の考えとしては、ごみ箱を市内各地に置いていくというよりも、ごみの持ち帰り、先ほど永源山公園の話も出しましたがけれど、ごみ箱があるから町がきれいになるのではなくて、みんながごみを捨てないようにするということが大切だと思います。また、町田市、岡山県ではエコイベントを行って、イベントの時にごみの持ち帰りをお願いするそれ自体をイベントにしています。ごみを少なくすることは本当に大切だなと思っています。花壇に花を植えることによって、ごみを少なくする、確かにごみを捨てにくい環境をつくることは大事なことです。花壇をつくるということはやはり維持管理、このことも考えて行かなくてははいけない。だから、花壇をつくるどころと作らなくても、効果的な対応ができるよう、考えていかななくてははいけないなと思っています。また、今、市を挙げてごみゼロ運動に取り組んでいますので、詳しくは担当部長から、ごみゼロ運動について、答えてもらいます。

●環境生活部長

ごみのないきれいな町づくりを周南市では進めています。例えば、市役所の前にあるイチヨウの木がたくさんありますが、秋には紅葉してとってもきれいなのですが、その分、落ち葉もたくさん落ちてきます。そういった時期とか、それ以外にも市役所では、年に数回、日にちを決めて当番制で掃除をしています。他にも、市内にあるたくさんの企業やお店のみなさんが、自分の周りをきれいにされています。あわせて、里親制度というものもあります。これは、市の公園や市が管理している道を2人以上のグループで、年に4回以上清掃活動を基本的には、ボランティアで行っていただいています。市の方からは支援として、活動を行っている団体の看板を掲げたり、ボランティア保険の加入をしたり、ごみ袋の支給をして、みんなで市全体をきれいにしていただいています。このような団体が、市内に57ほどあります。ぜひみなさんも、大きくなって、団体が近くにあれば参加してほしいと思います。

●地域^{しんこう}振興部長

先ほども、たくさんのイベントが地域で行われていると木村市長も答弁されましたけど、200以上のイベントがそれぞれの地域で行われています。そういった地域のイベントは、地域の人が集まって、どうしようか、こうしようかといういろいろ考えて、どうしたら人がたくさん集まるイベントになるのか話し合いをしながら作っていています。そうした話し合いの中に、みなさんもこうした方がいいのではないかという意見も出していただいて、その中で、ごみの対策もしっかり考えていただいて、イベントの時はボランティアとして参加していただいて、ごみのないきれいな町になるよう取り組みをしていただきたいと思います。そうした取り組みが市内の全地区で行われていくと、これが全市的な取り組みになると思っています。

●議長

再質問はありませんか。

●温品明香議員

先ほど、質問いたしました人がたくさん集まるイベントをもっと開催してほしいことでひとつ、質問があります。新しいイベントを開催する際に、アンケートを取るなどして、

私達、子供の意見も聞いていただけませんか。子供にとって、魅力的なイベントがあると、その親も参加することにつながり参加者がもっと増えると思うからです。そして、たくさんの人に町をきれいにしようとキャンペーンが広まると思います。ご回答、よろしくお願いたします。

●市長

確かに、その通りですね。大人だけが考えるだけでなくみんなの意見を集めながら、イベントを考えていかなければいけない。意見があるときは、しっかりと受け止めます。どんどん意見を言って欲しいと思うし、また、子供達の意見が我々に届くような仕組みづくりも必要かなと思っています。いい、意見をありがとう。

●議長

他にありませんか。

再質問なしと認めます。以上で、富田東小学校「スマイルファイブ」の一般質問を終了します。

次に、高水小学校「チーム高水っ子」は、質問席に移動してください。

【高水小学校「チーム高水っ子」 とうたん 登壇】

●議長

続いて、質問順位第5番 高水小学校「チーム高水っ子」。

棚田和湖議員、手島彩花議員、小林千歩乃議員、松元心優人議員。

●棚田和湖議員

高水小学校6年棚田和湖です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

人間にとって大切な物は何でしょうか。たくさんあると思いますが、自分や大切な人の健康ということは、どんな人に聞いても帰ってくる言葉だと思います。そこで私たちは、「子どもからお年寄りまで健康な町 周南」というテーマで提案することにしました。

まず、自分達にできることを考えましたので、一人ずつ発表したいと思います。私は健康に大切なことは、運動だと考えます。だから私は、進んで運動に取り組み、昼休みや放課後、休みの日など外に出てしっかり運動したいと思います。

●手島彩花議員

高水小学校6年手島彩花です。私も運動することはとても大切なことと思います。

この冬休み、私は家の中に引きこもって外で遊びませんでした。運動をしていなかったので、体がだるく、何事にもやる気が出なくなりました。体を動かすことが大切なことに気づきました。縄跳び大会もあるので、外で縄跳びの練習をしたいと思います。

●小林千歩乃議員

高水小学校6年小林千歩乃です。わたしは健康に気をつけるためにバランスのよい食事が大切だと思います。ですから、学校の給食や家での食事など好き嫌いを言わず、何でも残さず食べるようにしたいと思います。

●松元心優人議員

高水小学校6年松元心優人です。ぼくは、健康は睡眠と関わっていると思います。なので、早寝早起きをします。

●棚田和湖議員

次に、私たちのテーマである「子どもからお年寄りまで健康な町 周南」にするために一人ひとりのできることも他の学校や地域でできることは何かを考えました。

1つ目は登校や下校の時に地域の人と一緒に歩くことです。最近、ウォーキングがブームになっていて朝や夕方、高水の町を歩いている人をたくさん見かけます。

また、高水小では地域のたくさんの方がボランティアとして登下校の見守り活動を行ってくださっています。そこでこのような活動を利用して、学校の登下校の時に地区の人と一緒に歩くという活動をすればよいと考えました。地区の人と一緒に歩くことで健康にもなるし、お話をすることで心も元気になると思いました。

2つ目は、運動会などの行事に地域の方をお招きしたり、地域の方が参加する種目を増やしたりするということです。今もやっていますが、地域の方が楽しめる種目をもっと増やせたらいいと思いました。

●手島彩花議員

3つ目は、空き教室を開放して地域の方がいつでも学校に来られるようにするということです。学校に地域の方がいらっしゃれば、昼休みなどに一緒に遊ぶことができます。昔の遊びや私たちが知らない遊びを教えてくださいと、さらに遊ぶことが好きになり、自然と体を動かすようになると思います。

4つ目は、運動場を使ったスポーツのイベントを行うことです。ペタンクやグランドゴルフ等のお年寄りでも楽しめるスポーツ大会を企画して行うことが健康につながると思いました。

●小林千歩乃議員

そこで、市長に提案します。それは空き家や空き店舗^{てんぽ}などを整理して、「健康」をテーマにしたテーマパークを作ってほしいということです。始めにも述べたように、健康で元気に生活したいという願いはたくさんの方が感じていることです。

●松元心優人議員

例えば、遊具のある大型公園、その周りにジョギングコースやウォーキングコース、またプールやトレーニングジム、温泉、さらには地元の食材を使った健康メニューのレストランや生活習慣病について学べるコーナーなどの施設が集まったテーマパークを作ってみてはどうでしょうか。

このような施設があれば、多くの周南市民が利用し、さらにそこに集まった人同士の交流が生まれ、心も体も健康になると思うのですが、いかがでしょうか。このことについて、回答をお願いします。

●市長

健康、大切なことです。町づくりにおいて、市民が健康で元気に暮らせる、重要なことだと思っています。今、テーマパークという話をいただきました。おそらく、普通のテーマパーク、おそらく遊園地であったり、大きな施設があるというイメージではないのではないかなと思いつつ、市長は議員の質問をお聞きしていました。今、いろいろな公園

があり、施設があり、複合的な機能を持ったエリアの中で、健康づくりをどうやって取り組むかという観点から今の質問を聞いておかななくてはいけない。「テーマパークを作りましょう」「お金がかかりますからダメです」では、議論が進みませんので、まずは周南市が行っている健康づくり、どんなことをやっているかについてこども健康部長から話をしてもらいましょう。

●こども健康部長

みなさんが、健康について、未来の町づくりについて大きな柱として、真剣に考えていただいたこと、意義があると思っております。ただ、市長が申しましたようにテーマパーク、施設の整備のという方法の他に、周南市としては既にある市内の施設を活用して各地域で取り組む様々なイベントの中に、健康についての取り組みを入れていくことも、ひとつの方法ということで取り組んでいます。例えば、周南スポーツフェスタ、周南緑地にあるいろいろな施設がありますが、その「スポーツフェスタ」と一緒に開催した、健康に関する「ぶち元気がいいねフェスタ」の中では、食べ物^{せつじゆ}摂取、食育とか、血圧測定、運動など、14の団体に参加いただいて、4,093人の方に参加をいただいています。こういったイベントと一緒に健康づくりを行うことで、身近に考えていただく機会を増やすなど、こういった方法もあるのではないかと思います。周南市の取り組みとしては、市民のみなさん、一人ひとりが、自分の健康は自分でつくるということで、周南スマートライフチャレンジという事業を実施しています。この中では、運動、ウォーキング、食育などいろいろなメニューがあります。ぜひ、こういったことを取り入れながら、やっていきたいと思っています。

●市長

議員のみなさんは、おなかぺったんこ体操を知っておられますか。スマートライフチャレンジは。じゃあ、野菜メニューコンクールは知っていますか。いろんな取り組みを市ではやっています。ぜひ、家に帰ってユーチューブで見て、おなかぺったんこ体操と検索してもらおうと周南市のいろいろな体操が出てきます。大切なのは、健康づくりというものは、自治会とか、コミュニティなどでひとりずつが取り組むことができると思っています。そういうことと言えば、公民館など拠点にしていろいろな講演会を開いたり、講座を開いたり、またいろいろなお祭りをやっているの、その中で、みんなで知恵を出し合って健康な町をつくっていかなくてはいけないなと思っています。何よりも、テーマパークというのもいいのだけれど、何か大きな施設だけをつくるとなると、施設をつくる時のお金、施設を維持管理するお金、これがいくらぐらいかかるかということも、考えながらあわせてやっていかなくてはいけないなと思います。いずれにしても、今日の健康をテーマにしたというテーマパークは、いろいろな可能性がある質問や意見だと思っていますので、議員の方々の意見をしっかり取り入れて、どうすればワクワク、ドキドキしながら健康づくりに向っていろいろなチャレンジができるか考えてみたいと思います。

●議長

再質問はありませんか。

●小林千歩乃議員

今、述べたような施設を1から建設するとなると、かなりの費用、予算が必要になると

思います。そこで、現在ある施設を利用してはどうでしょうか。例えば、フレンドパーク周辺にはプールもありますし、野球場、陸上競技場、キリンビバレッジのアリーナなどもあります。これらの施設を利用して、足りないもの、必要なものを建設整備すれば費用も安くなります。また、レストランやトレーニングジムなどは、民間の企業を利用する方法もあります。その様な工夫をすれば、費用面でかなり努力できると思うのですがいかがでしょうか。

●市長

素晴らしいことですね。今あるものをどうやって活用していくか、例えば、陸上競技場を含めました周南緑地公園も、野球場などいろいろな施設があります。ここを子供から大人が気軽に集まり、スポーツも楽しめる整備も出来るかなと思っていますし、市は、周南緑地基本計画というのをつくっていますので、担当部長より、どんな計画か報告してもらいましょう。

●都市整備部長

お答えいたします。先ほど再質問にもありましたように、既存の施設の活用は、大変有効なことだと考えています。市長が申しましたように、現在、周南緑地基本計画を策定しておりまして、その計画の中で、例えば陸上競技場やプールも、かなり古くなって、なかなか使い勝手も悪くなってきているので、それをどういうふうにしたらいいか、検討しています。今から総合的に考えて、整備を進めていきたいと思っておりますけど、その中にこういう施設があったらいいなとか、こういうものをつけてみたらいいなというものがありましたら、ぜひ市の方に教えていただければ、検討していきたいと考えています。よろしく申し上げます。

●議長

他にありませんか。

再質問なしと認めます。以上で、高水小学校「チーム高水っ子」の一般質問を終了します。

次に、鹿野小学校、「周南守り隊」は、質問席に移動してください。

【鹿野小学校、「周南守り隊」 ^{とうぜん}登壇】

●議長

続いて、質問順位第6番 鹿野小学校、「周南守り隊」。

江副聖議員、厚東真衣議員、柳井大空議員、井東太陽議員、岡崎愛議員。

●厚東真衣議員

鹿野小学校6年厚東真衣です。一般質問をいたします。

初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。私たちが住んでいる鹿野は、小さな子供から高齢者まで、幅広い年代が暮らしている町です。私たちは、鹿野が、この先ずっと安全に過ごせる町だったらいいなと願っています。

そこで、私たちは、「子どもから高齢者までの様々な人が安全に過ごせるまちにするため

に」というテーマで提案します。

まず、子供から高齢者までの様々な人が安全に過ごせるまちを目指して、自分たちができることを考えましたので、一人ずつ発表したいと思います。

私は、そのために、公園や図書館など、公共の場でルールを守って生活します。

●江副聖議員

鹿野小学校 6 年江副 聖です。

私は、そのために、まずは、自分から危険な所に近づかないようにします。

●柳井大空議員

鹿野小学校 6 年柳井大空です。

ぼくは、そのために、道に落ちているごみを進んで拾います。

●井東太陽議員

鹿野小学校 6 年井東太陽です。

ぼくは、そのために、鹿野のまちのクリーン作戦などボランティアとして参加し、町をきれいにします。

●岡崎愛議員

鹿野小学校 6 年岡崎 愛です。

私は、そのために、壊れそうな空き家には近づかないように呼びかけをします。

●江副聖議員

私たちのテーマである「子どもから高齢者まで様々な人が安全に過ごせるまち」にするために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

鹿野は人口がどんどん減っていて、これから先も空き家が多くなると予想されます。そこで、人口を増やしていくことが大事ではないかと考えました。では、どのようにして人口を増やしていけばよいのかを考えてみました。

まず、人が多く集まる魅力的なイベントを増やすことです。鹿野地区では、毎年「鹿野市」が開かれ、地域の人たちがイワナなどの魚釣りやウォークラリーなどのイベントを企画したり、鹿野の特産品などのお店を出したりしています。

私たち鹿野小学校の児童も、学年ごとに、学校の花壇に咲いていた花を使った草木染めの壁掛けや再生紙を利用した手作りはがき、地域の方たちと一緒に作った竹馬や竹とんぼなどのお店を出しています。私たちは、これからもこの取り組みを続けて、鹿野地区を盛り上げていきたいと思っています。

●岡崎愛議員

そこで、2つのことを市長に提案します。

1つめは、「こわれかけている空き家がなくなるようにしてほしい」ことです。

鹿野には、昔から建っている古い家が多く、昔はにぎやかだったという商店街でも、だれも住んでいない壊れかけた家が何軒かあります。そこは、「鹿野市」が行われる通りでもあり、たくさんの方が来られるのに、特に小さい子供や高齢者には危険だと思うからです。また、その道は、私たちが毎日通る通学路でもあり、いつも「危険だな。」と思いながら通っています。危険な空き家をなくすことができれば、子供や高齢者が安全にまちを歩くことができるようになるのではないのでしょうか。

●井東太陽議員

しかし、イベントを増やしても、そのときに人が集まるだけで、人口が増えることにはつながらないように思います。

そこで、2つ目の提案です。「会社など多くの大人が働ける場所を増やしてほしい。」ということです。働く場所が近くになれば、鹿野の人口は増えていくと思います。人口が増えれば、高齢者も家族と一緒に、安心して暮らせるようになると思います。ぼくは大人になっても大好きな鹿野に住んで、鹿野のまちづくりに役立ちたいと思っています。鹿野のまちは住みやすい所なので、働ける場所が近くにあると、人口も増えていくと思います。

いかがでしょうか。以上2つのことについて回答をお願いします。

●市長

人口には、2つあります。交流人口と定住人口です。イベントでたくさんの方がやって来る、これを交流人口といいます。今、井東議員のように、これからも鹿野に住み続けるぞとみなさんが住んでいただくことは、定住人口といいます。交流人口、定住人口どちらも、たくさんの方が集まるということは町をにぎやかにすることになります。

そこで、2つの質問、壊れかけた空き家が無くなるようにして欲しいということですが、空き家というのは、個人の持ち物なので。市の方では、空き家等の適正管理に関する条例を平成28年に作って、空き家対策をしています。これについては、後ほど担当部長が分かりやすく、説明してくれます。

それから、鹿野で定住人口を増やすためには働く場所を増やしてほしいというのが2番目の質問ですね。定住人口を増やすのには、働く場所は、本当に重要な要素だと思います。私は、鹿野は、とても魅力と可能性がある地域だと思っています。きれいなお水や、おいしい空気や季節折々の自然が残っている。そして天神祭やいっておかえり鹿野市などがある。いっておかえり鹿野市の時には、みなさんも一緒に参加してイベントを盛り上げてくれていますよね。冬の花火など、鹿野ならではの、祭りやイベントが行われる素晴らしい地域だと思いますし、鹿野のことが気に入って移住してこられる方もたくさんおられますよね。鹿野の靴屋さんの福山さん、それからウェブデザイナーの方もおられます。

ところで、鹿野をこれからどのような地域にするか、もちろん鹿野の地域の人と話していかなければいけないですけど、私は、6次産業、どういう意味かわかりますか。1次産業が農林水産業、2次産業が製造業、3次産業が販売する商業ですね。1×2×3、農林産業の品物をつくって、さらに付加価値を高めて6次産業化への挑戦になります。市の方では企業設置促進条例などもありますので、もちろん鹿野に進出したい企業があれば、支援をしていきます。今、鹿野で私が考えているのは、特に新規就農者、新しい農業に挑戦してくれる人が増えるといいなと思っています。パッケージ支援ということを市がやっていますが分かりやすく、後ほど担当部長が説明してくれるかな。特に、鹿野はわさび栽培に注目をしています。ぜひ、井東君も鹿野に残って一緒になって鹿野を盛り上げるような方法も考えてもらいたいと思っています。市もしっかり、鹿野地域や中山間地域全体を支援していこうと思っています。では、担当部長から答弁してもらいます。

●環境生活部長

空き家についてのご質問についてお答えします。先ほども、発表がありましたが、空き

家に近づかない、これは大切です。決してかくれんぼなどで遊ばないでください。鹿野には、先ほど市長が申しましたように条例ができて、一番最初に、市が危険な空き家でなくなるようにした家があります。みなさんも、ご存じだと思いますが町の中に板で囲んだ家が1軒あると思います。この持ち主の方は、今周南市に住んでいらっしゃるんですが、その方と相談して、通学路にもなっていて、危ないので板で囲んで壁をつくりました。そういった取り組みを、市内でも、何箇所かで行っています。例えば、通学路に瓦などが落ちてきたら危ないので、ネットを張るなど、いろいろな対応をしています。空き家は、今、住んでいらっしゃるなくても、持ち主の方がいらっしゃいます。市では勝手にできません。時間がかかりますけれど、空き家が少しでも無くなって、安全に生活できるように進めていきたいと思っています。

●地域振興部長

空き家のことについてですけど、空き家を、移住してもらうため、有効活用に役立てたいと思っています。ただ、空き家はあるけれど、貸していただける空き家が少ないというのが現状です。そのために、里の案内人の制度を御存じかもしれませんが、活用できる空き家を探してもらったり、移住を希望している人に空き家を紹介したり、移住者の相談などをしてもらうなど橋渡しの役をしていただく里の案内人さんが鹿野にもおられます。貸していただける空き家を見つけて、空き家バンクに登録していただいたりする取り組みもしております。先ほど、靴屋さんの話も出ましたけれど、空いている空き家やお店がたくさんあると思いますけれど、そういった所に、よそから来て商売をしていただくために店舗を改修したり、施設の整備をしていただく補助金も市の制度の中にあります。住むための家の改修の制度もありますので、そういったものを活用していただいてたくさんの方が市外から来ていただく取り組みをしているところです。

●経済産業部長

鹿野地区の子供達が大人になった時に、鹿野で働ける場所を増やして欲しいという、お尋ねですけど、統計データで紹介いたしますと、今、周南市 7,400 の事業所があります。そして約 73,000 人がそこで働いています。鹿野地区においては、このうち約 170 の事業所、1,000 人の人が働いているところです。その地域で雇用を確保すること、そして産業振興を図って、地域の活性化につなげるということは大変大きな課題だと思っています。市長も、先ほど紹介しましたが、条例を設けて製造業を中心に市内に工場ができたり、プラントを増設したりするときには、事業所設置奨励という制度を設けています。また会社には、本社や支店、営業所などがありますが、本社機能を周南市に移していただいた場合も、奨励支援制度を設けています。これらの制度は、市内全域を対象にしておりますので、鹿野地区への進出も大いに期待できるのかなと思っています。産業振興、雇用の確保を考えた時には、地域の特性も考える必要があると思っています。先ほど、市長も申しましたが、鹿野地区は、農業、林業、畜産業が大変盛んな地域となっています。鹿野地区で、新規就農者の支援を始めようではないかということで、新しく農業を始める人に対して、農業の研修、農地の確保、ビニールハウスなどの施設の支援をするなどの取り組みを始めているところです。また、6次産業化という言葉も、聞かれたことがあると思いますが、鹿野地区に有限会社鹿野ファームという会社があるのを御存じでしょうか。こ

の会社は、和牛や豚の飼育をされ、それを食肉加工され、そして販売をされている会社です。例えば、農場だけで働いている人は20人程度なのですが、それをハムなど加工する、そして販売することによって、約60人の新たな雇用が生まれます。これが6次産業化の取り組みということです。農村地域の所得の向上、そして雇用の確保に結び付けようという取り組みでして、現在、国や県と一緒に市もしっかり支援をさせていただいているところです。以上、市の取り組みのご紹介も兼ねて説明させていただきました。

●鹿野総合支所次長

鹿野小学校のみなさんには、貴重な提案をしていただと思っています。私達の方にも、そういう相談を受けたことがございます。空き家にしても、勤める所にしても、本当に重大な問題です。大切なことは、人が住むことだと思います。鹿野小学校のみなさんにも、ぜひこれからも、鹿野に残っていただいて、先ほどから農業の話もありましたが農業もひとつの産業にすることができます。その気になれば会社にすることもでき、雇用もすることができます。みなさんの力を結集して、知恵をしぼってこれからも鹿野に残って努力していただきたいと思っています。

●市長

最後に、農業にチャレンジする若者を市がどうやって支援していくかですが、パッケージ支援といって、全国でも珍しい取り組みですので、ちょっと議員のみなさまに紹介させていただきます。農業をやりたい。だけど、技術が無いときは、県の農業大学校があります。そこでお給料をもらいながら、勉強ができます。そして農業大学校で勉強した後は、ベテランの農家の方が指導をしてくれます。市は、そういう方々に農地の確保をしてあげます。住まいを確保してあげます。また、ビニールハウス等を貸与して、ある程度、独立するまでは、資金面でも支援ができます。ビニールハウス等を貸与して一定の期限が来ればそれはその人の物になります。こういうパッケージで農業を支援することで、たくさんの若者たちが今、新たに周南市で農業を始めて、就農する人が増えています。みなさん方もぜひ、農業というのは人間が生きていくうえで、絶対に欠かせない産業です。農業へチャレンジを若い人達に呼びかけたいと思います。よろしくをお願いします。

●議長

再質問はありませんか。

●柳井大空議員

ぼくの両親は鹿野で働いています。それで、スポーツ少年団で父と一緒に野球をすることができてとてもうれしいです。ぼくも大人になったら鹿野で働きたいと思っています。でも小学生の力では、働く場所を増やしていくことは難しいので、ぜひ、鹿野地区に働く場所を増やしていくように考えてください。

●市長

これは、市だけでできることでは無いです。市長は、いつも「共に」ということを言いますが、市も、いろいろな制度や仕組みを考えます。地域の人も、共に進めていきましょう。子供達も、お父さん、お母さんを支えて素晴らしい地域をつくって行きましょう。市だけが働く場の確保ができるわけではありません。みんなで努力をして、みんなで力をあわせて働く場所を作って行きましょう。市も、全面的に協力をしてみなさんの幸せ、市民

の幸せな安心安全な生活を支えていこうと思いますので、どうぞ議員の方、よろしく願いいたします。

●議長

以上で、鹿野小学校、「周南守り隊」の一般質問を終了します。

これをもって、一般質問を終わります。

以上で、本日の日程はすべて終了しました。

市長あいさつ

●議長

ここで、市長からあいさつがあります。市長。

●市長

みなさん、本当に素晴らしい、さまざまな提案をいただきましてありがとうございます。みなさんが緊張されているのが、よく分かりましたが、実は市長をはじめとして、答弁者側も今日は緊張して臨みました。

そして、みなさんの発言を聞いて、学校の授業を通して周南市について、自分たちの地域について、一生懸命考えてくれたのだということがよく伝わってきました。自分たちが学校、自分たち、地域の人達で出来ることも、このことについてもたくさんの思いを聞かせていただきました。

特に、今あなた達が暮らしている、自分たちが住んでいる地域のことについて、どうしたら安心安全で住みやすくなるか、健康で快適な暮らしを送ることができるか、このことをみなさんからいろいろな提案を聞かせていただきまして、大変頼もしく感じました。

みなさんももうすぐ中学生になります。これまでは、お父さん、お母さん、学校の先生、地域のみなさんに支えられて成長してきました。そして、これからは、自ら考え行動する機会も増えてくると思います。市長はよく、自立と自律と言います。自分で立つ。そのためには自分を律する。自立と自律、これが、私は本当に人が人として生きる大切なことだと思っています。

今日の議会で、みなさんに意見をいろいろ言っていただきました。いつも、自分たちの住んでいる場所、このことを考え、そして、自立と自律の心を忘れずに行動するということが、その心をずっと持ち続けていただきたいと思っています。

私は、いつも今だけでなく、20年先、30年先の未来を見据えて、共に支え合い、共に助け合い、共に分かち合う、そういう気持ちを大切にしまちづくりを進めています。

そして今日、みなさんからいただいた意見や、提案はみなさんの思いがしっかり、少しでも実現できるように、実現してまいりたい、そのために検討していきたいと思っています。

未来に贈りたい周南市をつくるために「共に」まちづくりを進めてまいりましょう。今日は、ありがとうございました。

議長あいさつ

●議長

私の方から、一言あいさつをいたします。みなさん、お疲れ様でした。実は、私も大変

緊張いたしました。今日のこども議会に備えて、みなさんはしっかりと学校で学習されたことだろうと思います。学習の成果が発揮できましたか。

みなさんが、日頃から心に留め、目にしている身近な疑問や課題、そして未来の周南市にかける思いをしっかりと聞きました。もちろん市長が答えたように、実現できることやできないことなどありますが、次の時代を担うみなさん方のために、議会も明るく住みやすい周南市づくりに、市長とともに協力しながら取り組んでいきます。

みなさんも満 18 歳になると、政治に参加する権利である選挙権が与えられ、市民の代表を選ぶことができます。そして、満 25 歳になると市議会議員に立候補することができます。願わくば、今日のこども議会を体験したみなさんの中からも、将来、市議会議員を目指す方が出てほしいものです。そして、これからの日本を背負っていただきたいと願っています。一緒にがんばりましょう。期待をしています。今日はありがとうございました。

●議長

これで、会議を閉じます

以上で、平成28年度こども議会を閉会いたします。みなさんお疲れ様でした。

署名

こども議員 厚東真衣

こども議員 河本遥人